

2026年4月7日(火)

北海道エアポート株式会社

帯広空港総合案内所にAI案内サービスを導入 ～多様化する案内ニーズと働き手不足に対応～

北海道内7空港を運営する北海道エアポート株式会社は、2026年4月8日(水)より帯広空港ターミナルビル1F総合案内所において「AI案内サービス」を導入します。

本サービスは釧路空港、函館空港に次ぐ3空港目の導入となり、当空港より直行便が就航する韓国を中心とした外国人観光客に対応するため、多言語をはじめとする空港案内業務の強化と働き手不足の解消を目指しております。

お問い合わせが多い内容を中心に画面ボタンを配置。音声での問合せに対してもAIアバターが回答します。また、海外のお客様もご利用いただきやすいよう5言語(日・英・繁・簡・韓)に対応しています。

北海道エアポートでは皆さまに快適にご利用いただける空港を目指し、AIの活用を推進してまいります。



▲案内所設置イメージ



▲画面イメージ

概要

- サービス名称：AI案内サービス Picto STAND
- サービス提供：株式会社Pictoria
- 開始日：2026年4月8日(水)～
- 稼働時間：ターミナルビル開館中(開閉館時間は帯広空港ホームページをご覧ください)

<https://www.hokkaido-airports.com/ja/obihiro/>

- 提供サービス：フロアガイド、二次交通の案内、観光地情報など

ディスプレイに映るアバターが案内所スタッフとしてお客様案内を行います。
お客様が画面を操作し、事前に設定されたよくあるお問い合わせの中から回答を得られることに加え、アバターに対して直接話しかけることで生成AIが学習している基本情報をもとに、お客様と対話しながら観光案内等を行うことも可能です。

- 設置場所：帯広空港ターミナルビル1F総合案内所
- 対応言語：5言語(日・英・繁・簡・韓)

<本件に関するお問い合わせ>

北海道エアポート(株) 総務・人事部 広報課 0123-46-2990 (代表)